



看板商品の「オリタッチ®」が業界内で高い評価

マエダウェーブの看板商品は「オリタッチ®」と名付けられた伸びるB面ファスナーです。技術力と品質が高く評価されており、主に医療現場でベルトなどとして使われ、健康づくりを支えています。

面ファスナーとは、フック状(A面)のシートとループ状(B面)のシートを貼り合わせて使うもので、接着面は引っ張るだけで簡単に外すことができます。衣類やバッグ、靴など、私たちの身の回りで数多く使われています。

オリタッチの特長はほかの面ファスナーに比べ、柔らかく肌触りがよいことです。ループ状の部分が傷みにくく、耐久性は抜群。しかもゴム紐を織り込んでいるので伸縮自在です。10色のカラーバリエーションを展開し、20mmから200mmまで、さまざまな幅のものを生産可能です。

高い技術力と品質が評価され、メーカーとともに企画、開発から手掛けることもしばしば。多くは医療用として使われ、売り上げは全体の50%以上を占めています。



代表取締役
前多 恒義さん

前多社長は「オリタッチは業界では有名なのですが、一般の消費者にはまだまだ知られていません。今後は協力企業のECサイトを活用するなどして、BtoCの分野にも力を入れていきたい」と意欲を燃やします。

働きやすい職場づくりに向けては、社員からの要望を取り入れ、2021年から完全週休2日制を導入するなど、ワークライフバランスの向上に努めています。

また、年に数回は会社負担で食事会を催すなどしており、前多社長は「もっとコミュニケーションを活発化させたい」と話し、社員が生き生きと働ける環境づくりにも目配りを忘れません。



展示商談会に積極的に出店し、技術力や品質をPRしています

Staff



香林 健太郎さん
2009年入社

自社製品を世界中に流行させたい

製品の仕上げや反巻き、箱詰めを担当しています。先代社長と私の父が知り合いで、「ぜひ働きに来てほしい」と声を掛けてもらい、入社しました。

いろいろな工程を経て、出来上がった製品がお客様に届けられるので、自分もその一

端を担っているという自負と使命感を持って、日々、仕事に励んでいます。

当社は、社員みんなが真面目に仕事に取り組んでいますし、分からないことがあっても何でも相談できるアットホームな雰囲気職場です。

2021年からは完全週休2

日制が導入され、プライベートの時間をより充実させることができるようになりました。

「オリタッチ」や新たに開発した商品が、日本中、そして世界中で流行するのが夢です。メイド・イン・ジャパンの優れた商品を世界に広められるよう、これからも頑張ります。

Topic

他社との差別化に向け、広幅織物に注力

マエダウェーブでは、幅が150mmから300mmの広幅織物用の織機を約10台保有しています。広幅織物を手掛ける会社は少ないため、他社との差別化につながり、前多社長は「展示会などを通じてアピールし、売り上げを伸ばしていきたい」と話しています。



マエダウェーブ株式会社

<http://www.maedaweave.com>

かほく市長柄町ソ38-2

TEL. 076-281-0916

代表者／前多 恒義

創業／1959(昭和34)年

資本金／1,000万円

従業員数／7名

